

2024年2月29日

各位

会社名 株式会社ジャパンインベストメントアドバイザー
 代表者名 代表取締役 白岩直人
 (東証プライム市場・コード:7172)
 問合せ先 取締役管理本部長 杉本健
 (TEL. 03-6550-9307)

プライベート・エクイティ投資事業における新たな投資について ～株式会社アイスリーデザイン～

当社グループは、2015年8月より、プライベート・エクイティ投資事業を開始し、バリューアップ投資を行っております。これまでに7社のIPOを実現いたしました。(※)

今般、当社グループが運営するファンドの新たな投資先として、株式会社アイスリーデザイン(以下、アイスリーデザイン)の株式を取得いたしましたのでお知らせいたします。

※ これまでの当社グループ投資実績:<https://www.jia-ltd.com/business/privateequity/>

記

1. 投資の目的

アイスリーデザインは、デザインとテクノロジーの力で社会課題を解決するデジタルイノベーションパートナー企業です。新規のデジタルサービスの創出、イノベーション支援、アプリ、Webサービスのコンセプト設計、UI/UXデザイン、開発からグロース支援まで一貫してDXサービスを提供している伴走支援型総合デジタルプロデュース企業です。

当社グループは、これまでのアイスリーデザインの実績と、「Business x Design x Technologyの力で世界の進化を支える」という企業パーパスに共感し、同社の事業拡大のサポートをすべく、株式を取得することといたしました。

2. アイスリーデザインの概要

| | |
|---------------|---|
| (1) 名称 | 株式会社アイスリーデザイン |
| (2) 所在地 | 東京都港区赤坂八丁目1番22号 NMF 青山一丁目ビル3階 |
| (3) 代表者の役職・氏名 | 代表取締役 芝陽一郎 |
| (4) 事業概要 | デジタルイノベーションパートナー企業 |
| (5) 設立 | 2006年7月26日 |
| (6) URL | https://www.i3design.jp/ |

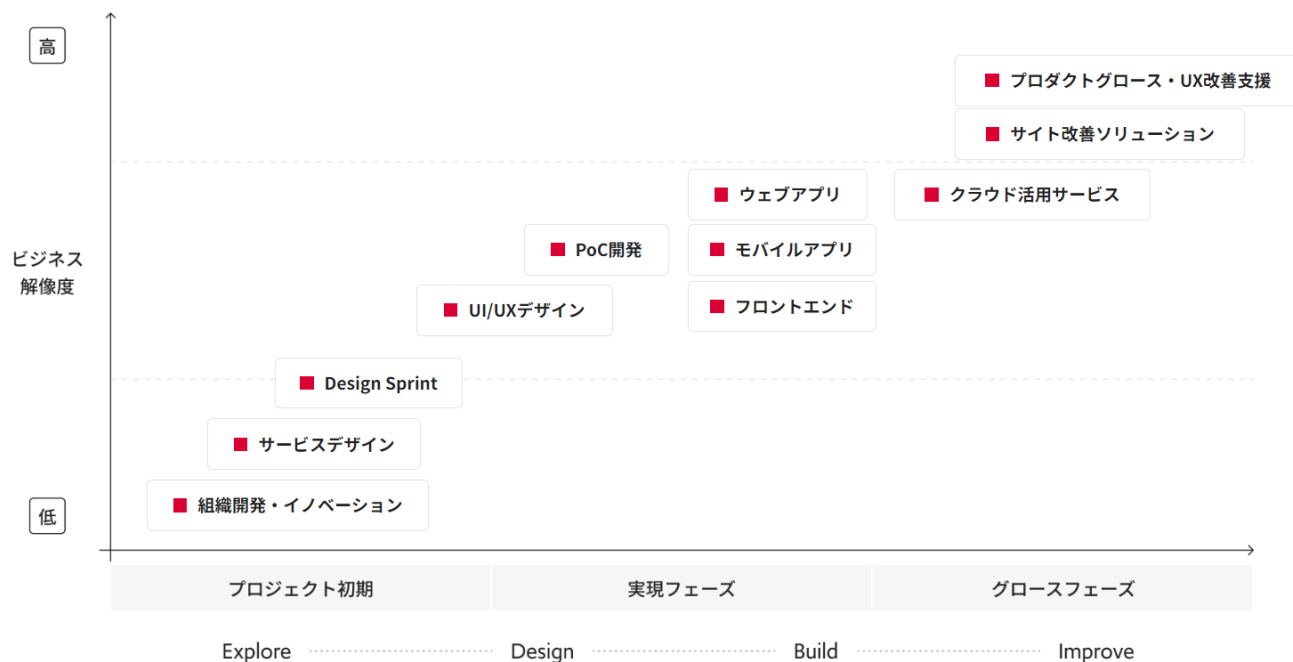
3. 今後の業績に与える影響

現時点において、本件による2024年12月期の業績に与える影響は軽微です。

【参考】 アイスリーコンサルティング サービス紹介

i3DESIGN DX 支援フレームワーク

アイスリーデザインのサービスは、クライアントのプロジェクトのステージに合わせて以下のサービスで構成されています。DXに必要な組織開発、サービスデザイン、プロトタイピング、実際の開発からグロース支援と、一連のサイクルをカバーすることによって、ステージに合わせたデザイン設計が可能になります。



| サービスデザイン分野

組織開発・イノベーション <https://www.i3design.jp/services/od>

- DX を推進する上での適合度の診断サービスから実際にイノベティブな組織になるためのワークショップ・プログラムの設計からファシリテーションまでを支援

| サービスの特徴 | | ケース |
|------------------|---|--|
| イノベーション・エンジニアリング | 過去のイノベーション研究とこれまでのプロジェクトを通してイノベーションの再現可能性を高める技術「イノベーション・エンジニアリング」を追求。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 新規事業検討 ・ 組織開発 ・ 幹部研修 ・ 事業戦略検討 |
| DX 診断プログラム | イノベーションに関する各種学術研究をベースに独自の DX 診断プログラムを開発。診断は 7 つの主要項目と 35 の設問で設計。 | |
| デザインフィクション思考 | 既存の思考ループから抜け出し、デザイン思考の逆転を考慮した独自のプログラムを開発。 | |

サービスデザイン <https://www.i3design.jp/services/servicedesign>

- ユーザー調査、ペルソナ設計、ストーリーボード、リーンキャンバス、ビジネスモデルキャンバスなどの手法やツールを用いて、コンセプト設計からビジネス視点での検証を実施

| サービスの特徴 | | ケース |
|-------------|---|------------------------------------|
| 提供すべき価値の明確化 | ユーザーの視点に立つことによって、どのような価値を提供すべきかを明確化。 | ・ 基礎技術を応用した プロダクト開発 |
| コンセプト設計 | 提供すべき価値が明確化した後、ユーザーがそのサービスにどういった世界を想起して欲しいかを検討。 | ・ 新規サービスの企画・ 検証 ・ 既存サービスの再検討 |
| ビジネス視点での検証 | ビジネス視点(競争優位性、ビジネス規模)を考慮。 | |

デザインスプリント <https://www.i3design.jp/services/designsprint>

- 5日間で「問題定義～ニーズ探索～アイデア発想～プロトタイプ～テスト」までを実施する短期集中プログラム

| サービスの特徴 | | ケース |
|-------------------|---|---|
| プログラム伴走 | アイスリーデザインでは過去のプロジェクトの経験から、DesignSprint のプログラム実施前のガイダンスならびに実施の伴走の両面からサポート。 | ・ 新製品やサービスの 立上げ ・ ビジネスアイデアの 検証 |
| カスタマイズ | DesignSprint のエッセンスを抽出して、クライアントのニーズとプロジェクトの目的に応じてプログラムを設計し直し、伴走を実施。 | ・ 既存のサービスを 拡張する |
| ラピッド・ プロトタイピング | 社内でトレーニングされた UI デザイナーが、各種プロトタイプツールを駆使して、これをサポート。 | ・ サービス改善 |

UI/UX デザイン <https://www.i3design.jp/services/uiuxdesign>

- ユーザー中心設計のプロセスをベースに、オブジェクト指向 UI(OOUI)の手法を用いることで、ユーザーとソフトウェアの間をスムーズに繋ぎ合わせ

| サービスの特徴 | | ケース |
|---------------------|--|---|
| ユーザー課題の明確化 | ユーザー中心設計プロセスでユーザーの持つ課題を明らかにし、課題を見える形にアウトプット。 | ・ SaaS の UI デザイン ・ 業務システム・アプリ ケーション |
| 正しい情報設計と検証 | UI デザインのプロフェッショナルとして、デジタルプロダクトの情報設計における「あるべき姿」を提案。 | ・ ネイティブアプリ ・ ユーザビリティ改善 |
| 使いやすく、 実現可能なデザイン | 検証に基づいたユーザビリティの追求、実装時の負担が考慮されたデザインが得意。 | ・ VI・ブランディング ・ デザインシステム |

| テクノロジー分野

モバイルアプリ <https://www.i3design.jp/services/mobileapp>

- ステージに応じた UI 設計、エンゲージメントを高める UX の実現、ユーザーが使いたくなるアプリを我々は目指しています。

| サービスの特徴 | | ケース |
|----------------------|---|--------------------------|
| UI/UX を考慮した アプリ開発 | デザイナーとエンジニアがタッグを組み、徹底してユーザーが使いやすいアプリにこだわり。 | ・ マッチングアプリ ・ EC アプリ |
| リテラル開発 | KPI 設計と各種分析ツールを駆使した利用状況の調査結果を見ながら、継続して競争力のあるアプリを実現。 | ・ コミュニティアプリ ・ ニュースアプリ |
| AR/VR・AI 対応 | AR/VR 以外にも、AI 活用など積極的に新しい技術を取り入れる環境。 | |

ウェブアプリ <https://www.i3design.jp/services/webapp>

- スケーラブルな Web アプリ開発を得意としており、プロジェクトの特性やフェーズに応じて、ウォーターフォールとアジャイル開発を選択して適切なプロジェクトスタイルをご提案

| サービスの特徴 | | ケース |
|----------|-------------------------------------|--|
| 使いやすさの追求 | 開発することだけでなく、利用されるサービスを開発することがミッション。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ プロダクト開発 ・ 商用サービス開発 ・ ToC 向けウェブサービス |
| リテラル開発 | リテラル開発で機能拡張をしていくスタイル。 | |
| 大規模アクセス | スパイクアクセス、大規模アクセスは自社サービスで証明済み。 | |

フロントエンド <https://www.i3design.jp/services/frontend>

- UI デザインとフロントエンド開発の双方の考え方を理解したデザイナーとエンジニアがチームを構成

| サービスの特徴 | | ケース |
|--------------|--|---|
| デザイナーと開発者の連携 | デザイナーにも技術研修、フロントエンドエンジニアもデザイン研修を実施することによって双方の考え方を理解できるカルチャー。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 会員ページ ・ ポータルサイト ・ モバイルサイト |
| 品質への拘り | 1px の拘り、これが当社のエンジニアのキーワード。 | |
| フロントエンド技術の習熟 | 定期的に技術ロードマップを更新して、最新のフロントエンド技術に対応できるよう勉強会も頻繁に実施。 | |

クラウド活用サービス <https://www.i3design.jp/services/cloudservice>

- 2011 年から自社のプロダクト開発と運用を AWS のクラウドサービスをフル活用
- 月間億単位のアクセスから金融機関の導入にも耐えられるセキュリティー基準での対応が可能

| サービスの特徴 | | ケース |
|------------|--|--|
| コスト最適化 | AWS サーバーレスは通常時はコストを抑制しつつも必要な時にスケールする新規サービスに最適なアーキテクチャー。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ Single Page Application ・ モバイルアプリ ・ 管理画面 ・ SaaS |
| 大量アクセスへの対応 | AWS サーバーレスではアクセスに応じて自動的に高速にスケールするため突発的な大量アクセスでも安定してサービスを提供することが可能。 | |
| イテレーション開発 | 開発されたソースコードのビルド、テスト、デプロイを継続的に行える CI/CD の環境を整えてイテレーション開発の実現とクラウドネイティブ環境を提供。 | |

xR/アプリ開発 <https://www.i3design.jp/services/xr>

- AR /VR/MR/などの、xR 技術支援やメタバースを活用した新たなチャンネルコミュニケーションや表現の場を提案し、収益モデルの構築・事業拡張を支援

| サービスの特徴 | | ケース |
|--------------|---|---|
| 先端技術の活用方法を提案 | Cross Reality/世界と仮想世界を融合し新しい体験を創造する技術やメタバースを使うことで何ができるのか、アイデアの具体化・可視化を提案、支援が可能。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 地方自治体・地方創生に関する制作協力 ・ 人材育成関連の VR コンテンツ制作・調査 |

| | | |
|-----------------------|---|-------------------------|
| 新しい顧客体験を提案 | 今までに無い顧客体験をどのように実現するか、既存事業に合わせた活用方法を提案し支援が可能。 | 協力 ・金融系デバイスへのxR 技術協力 |
| 競合他社との差別化・自社ブランディング強化 | 表現方法の幅が広がるテクノロジーを活用し、自社の強みをさらに伸ばす支援が可能。 | |

| グロース支援分野

サイト改善ソリューション <https://www.i3design.jp/services/growthhack>

- 独自ソリューション”flamingo”により、システムのモダナイゼーションと UI 改善、AB テスト、グロース対応までの PDCA サイクル高速化を実現

| サービスの特徴 | | ケース |
|-------------------|--|--|
| 既存のウェブシステムの改修は不要 | 既存のウェブシステムの改修に時間と費用が掛かる場合には、flamingo でフロントエンドを最適な UI に置き換えてエンドユーザーに表示することが可能。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ EC サイト ・ 人材サイト ・ 不動産サイト ・ ポータルサイト |
| AB テストで施策の効果検証 | 既存サイトの改修が難しい場合、flamingo でフロントエンドを最適な UI に置き換えて、エンドユーザーに表示することが可能。 | |
| UI 改善提案からグロース対応まで | 直感的に利用できる flamingo での管理・運用はユーザーでも対応可能ですが、対応策にお困りの場合には、当社の経験豊富なスタッフがサイト解析や UI 改善のご提案から、月次での改修対応の体制構築までサポート。 | |

プロダクトグロース・UX 改善支援 <https://www.i3design.jp/services/appgrowth>

- 調査・計画・行動・評価の PDCA サイクルをベースに、プロダクトの状況に合わせて戦略を決定し適切なプロセスを構築

| サービスの特徴 | | ケース |
|------------------|--|---|
| 課題を見極め、適切な戦略を立てる | プロダクト状況のヒアリングとマーケティング知見に基づいた評価、各種分析手法の実施などで客観的に課題を整理。プロダクトの段階に適した戦略と改善プロセスを提案。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ ネイティブアプリ ・ Web サイト ・ UI/UX 診断 ・ 計測支援 |
| 高品質でスピーディーなプロセス | デザイン・開発・評価までのプロセスをスムーズに実現。デザインから開発までを一貫して実施。 | |
| 専任スタッフが徹底サポート | お問い合わせからコンサルティング、インハウス化のサポートまで伴走し、サービスの成長をサポート。 | |

以上